

施策評価管理シート

2019(令和元)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進		
	施策	1	生涯学習		
				教育委員会事務局	高嶋 正広

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- 市民一人ひとりの個性やライフサイクル・ライフスタイルが大きく変化してきていることから、学習に対するニーズも多様化しており、主体的な学習活動が行えるよう、生涯学習情報の収集・発信と学習ニーズを把握し、多様な生涯学習機会の提供が求められています。
- 高等教育機関との連携を一層強化し、生涯学習の進展、地域課題の解消に取り組む必要があります。
- 名張市においては読書離れが進んでおり、図書館を拠点とした読書に興味を持つイベントの開催や、新刊図書の収集・整備をさらに推進する必要があります。

2. 施策の基本方針

Plan

- 市民一人ひとりが自らの資質の向上や学習を通して多様な交流を広げ、心かよう地域社会の進展のために、生涯学習のまちづくりを進めます。
- 生涯学習活動を進めるための情報提供や、学び続けることのできる環境の整備を進めるとともに、身に付けた知識や経験を社会で生かすことができる仕組みづくりに取り組みます。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan Do

施策指標(目標)の内容(単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
目的を持って生涯学習に取り組んでいる市民の割合(%)	目標	-	-	-	46.0	0.0%
	成果	44.5	45.1	42.5	41.6	
市民センター等における家庭教育講座の講座数(講座【延べ数】)	目標	-	-	-	90	86.7%
	成果	75	84	85	88	
市民一人あたりの年間図書貸出冊数(冊)	目標	-	-	-	7.0	0.0%
	成果	6.7	6.5	6.4	6.2	

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)

Plan Do

- ・平成28年度より公民館から市民センターへ移行し、引き続き各地域の市民センターを生涯学習活動の拠点と位置づけ、すべての地域において市民が生涯にわたって元気に、豊かで生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、「名張市の地域における生涯学習推進に関する指針」に掲げた「まなぶ」「つどい」「むすぶ」の3つの観点から、学習機会の支援に取り組みしました。また各地域の市民センター職員対象に生涯学習研修会を実施し職員のスキルアップに努めました。なばりカレッジは、平成28年度(全7回)受講者62名、平成29年度(全8回)受講者50名、平成30年度(全7回)受講者76名の参加となりました。
- ・高等教育機関との連携などに取り組み公開講座等、生涯学習機能の向上につなげました。皇學館大学ふるさと講座(毎年2回実施)受講者は、平成28年度163名、平成29年度103名、平成30年度178名となりました。
- ・限られた財源を有効に活用し、図書館資料を通じて市民が必要とする情報を提供するとともに、カウンター業務等を委託している民間事業者と協働して図書館サービスの向上を図り、市民の多様な学習意欲に応えられる図書館サービスを展開しました。
- ・市立図書館の市民一人当たりの貸出冊数は微減傾向が続いていますが、時期によっては開館前から50人以上並ぶなど、多くの市民に利用いただいています。図書についても、蔵書バランスに配慮した新刊図書の購入や、県内図書館との連携による相互貸借等により、市民が必要とする図書資料の確保と提供に努めました。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

- ・引き続き、各地域の市民センターを身近な生涯学習の場として役割を果たし、市民が主体的に生涯学習活動が行えるよう、学習ニーズの把握や情報の収集・発信を幅広く行うとともに、生涯学習の推進、地域課題の解決に向けた取り組みが必要です。皇學館大学をはじめとする高等教育機関との連携をさらに強化して行くことが必要です。
- ・図書館の貸出冊数は年々減少傾向にありますが、来館者数自体は大きな変化は見受けられません。これは図書館の利用法として、従来主流であった図書資料を閲覧し、必要な図書を借りる、あるいは、図書館にある資料を活用して学習を行うといった利用方法だけでなく、新聞や雑誌、AV資料などを閲覧しに来館される高齢者の増加や、従来は学生に限られていた図書資料を利用しない学習活動を行う成人の増加など、多様な利用方法が定着してきていることによるものと推測され、こうした利用者ニーズの変化を把握するとともに、それらに応えられる環境づくりが必要となってきました。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

- ・市民が生涯にわたって元気に、充実した生活を送ることができ、学びの成果を生かした地域づくりにつなげるため、各地域の市民センターが生涯学習の場として役割を果たせるよう「名張市の地域における生涯学習推進に関する指針」に基づき支援に取り組みます。また、高等教育機関との連携に取り組み、生涯学習機能の向上につなげます。
- ・引き続き、市民が必要とする図書資料の確保と提供に努めるとともに、利用者の声を積極的に聴取するなどし、利用者ニーズの的確な把握に努め、多様なニーズに応え得る図書サービスをの提供を通じて、生涯学習拠点としての機能を向上を図っていきます。

6. 行政評価委員会による総合評価



市民センターが各地域の生涯学習の場としての役割を果たせるよう生涯学習に関する情報提供・発信に努めるとともに、図書館においても多様なニーズに対応するなど、生涯学習拠点の機能向上を図ること。